

平成26年度 第3回学術研修会 報告

平成26年11月2日(日)、関西医療大学5号館3階講堂にて、専門学校校友会東洋医療学部、大学校友会鍼灸部会による第3回合同学術研修会が行われました。

当日は、関西医療大学の学園祭と日程を重ねた事もあり、多数の方に参加をして頂きました。

テーマ：『脱毛症の基礎知識と鍼灸アプローチ』

第1講演(13時~14時)

テーマ：「脱毛症の基礎と最新情報」

講師：田村隆弘先生(医療法人田村病院 田村皮膚科クリニック 院長)

第2講演(14時10分~16時10分)

テーマ：「脱毛症に対する鍼灸治療(実技供覧含む)」

講師：中村真理(まり鍼灸院 院長)

女性に対する悩みとしては、シミ、シワ、たるみ、などがあり、それを解決するために、美容鍼灸という分野がニーズも高まり急成長をしています。

一方男性に対する悩みとしては、脱毛、薄毛など頭皮に関する事を多く聞かれます。CM等で脱毛、薄毛に対する商品が多く紹介され、積極的に治療する方が増えていくことが予想され、それに伴い鍼灸でも脱毛の治療を望む方が増えていくと思います。

前半では、田村先生から脱毛症の各疾患の鑑別、毛髪所見、病態、脱毛の予後を説明して頂きました。画像も多く見せて頂くだけでなく、注意すべき所見も詳しく説明があり臨床の場で使いやすい内容でした。

田中先生は鍼灸をまだまだ可能性のある分野だと言われていました。「木を見て森も見れる学問」だと。円形脱毛症を例に中国医学の考え方を示して頂き、大変解りやすかったです。

2010年日本皮膚科学会の「円形脱毛症治療ガイドライン2010」では、鍼灸治療はD判定の「行うべきではない」とされています。しかし後半に講義される中村先生をはじめ、実際に臨床で結果を出している先生方も数多くいらっしゃるのも事実です。今後エビデンスのある症例報告を積み上げていくことで、鍼灸治療の認知度を高め、鍼灸自体の発展に努めなければならないと思いました。

後半では、中村先生に実際にご自身がされている治療を症例報告も交えながら講演して頂きました。中村先生は、4つの弁証(血瘀・血熱・気血両虚・肝腎陰虚)に分類し、それぞれのタイプ別症状と、タイプ別全身基本配穴を解説して頂きました。

その後、頭部の刺鍼例を実演を交えながら解説して下さいました。明日から臨床で使えるように、というお言葉通りとても丁寧に説明頂き大変勉強になりました。

今回は脱毛症というテーマで講演して頂きました。今後鍼灸師として関わるが増えるであろう疾患について、深く学ぶことができ、とても有意義な研修会でした。

文責：大学鍼灸部会 吉田竜磨

